

上野 清隆 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目 (1)、①、ア）
<p>1 教育長の所信について</p>	<p>(1) 就任後2か月の所感について</p> <p>島谷教育長が10月1日に就任されてから約2か月がたったが、現在の加賀市の教育環境、教育施策等についてどのように感じているのか、所感を問う。</p>
	<p>(2) 新たな学校教育ビジョンについて</p> <p>先月28日の市長提出議案説明では、新たな学校教育ビジョンの基、「個別最適な学び」「協働的な学び」「探究的な学び」へと転換を図り、教育施策を進めていくとのことであるが、新たな学校教育ビジョンはどのようなものか。</p> <p>また、どのような理念に基づき掲げられたのか、それぞれの具体例を示せ。</p> <p>(3) 加賀市の教育に対する抱負について</p> <p>新たな教育ビジョンへの意気込みを含めた、これからの加賀市の教育に対する抱負を問う。</p>
<p>2 インクルーシブ教育について</p>	<p>インクルーシブ教育とは障がいのあるなしを問わず、全ての子供が共に学ぶことを理念とする教育であり、インクルーシブ教育を進めることが、障がいの理解促進や障がいのある方が将来地域で自立した生活を送れることにつながり、いわゆる共生社会の形成につながると考えるが、今後の方針について、所見を問う。</p>
<p>3 中学校部活動の地域移行について</p>	<p>スポーツ庁が令和4年6月6日に公表した「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」及び文化庁が令和4年8月9日に公表した「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」では、休日の部活動について、2025年度末までに地域移行を図ることとしている。</p> <p>これを受け、市として休日の部活動の地域移行をどのような予定で進めていくのか。</p> <p>また、部活動の地域移行のケースとして、地域スポーツクラブ等に移行するケースや外部指導者が部活を指導するケースなどがあると思うが、具体的な案があるのか。</p>

林 直史 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
<p>1 「出産・子育て応援交付金事業」について</p>	<p>妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援体制を充実させることを目的として、本年4月以降に出産する方に対し、妊娠届出時に5万円、出生届出時に5万円を支給するという事業であり、来年度以降も継続して実施されると聞いている。</p> <p>妊婦やゼロ歳から2歳までの低年齢期の子育て家庭に寄り添い、面談や継続的な情報発信等を行うことで、必要な支援につなぐ伴走型相談支援体制の充実を図るためには、各自治体が創意工夫を凝らし、地域の実情に応じて柔軟に取り組むことが重要である。</p> <p>来年度以降、どのような創意工夫を凝らし、さらなる支援体制の強化につなげるのか。</p>
<p>2 ディスレクシア（発達性読み書き障害）について</p>	<p>ディスレクシアとは、学習障がいのタイプの一つであり、知的能力や一般的な理解能力などに異常はないが、文字の読み書きに関して著しい困難を抱える障がいである。ディスレクシアは、小学生の約7%から8%まで存在すると言われているが、周りの人が理解し、適切なサポートをすることで困難さを軽減することができるとされている。</p> <p>そこで本市の対応について3点問う。</p> <p>(1) 本市のディスレクシアの現状について</p> <p>市内小・中学校において、ディスレクシアの疑いがある児童生徒をどの程度把握しているのか。</p> <p>また、ディスレクシアの疑いのある児童生徒を早期に発見するために、学校現場ではどのような検査が行われているのか。</p> <p>(2) 市内小・中学校のサポート体制について</p> <p>ディスレクシアは学校や家庭において、それぞれサポートが必要であり、障がいの困難さを軽減するため、学校現場においてはタブレット端末の活用やデジタル教科書を効果的に活用するなど、適切なサポートが必要と考える。</p> <p>市内小・中学校におけるサポート体制はどのようになっているのか。</p> <p>(3) 保護者等への周知・理解促進について</p> <p>学校現場でディスレクシアが発見された場合、保護者との連携を十分に図ることが重要であり、また、学校での合理的配慮への理解を、ほかの児童生徒や保護者に周知することも必要である。</p> <p>市ではディスレクシアへの理解を促すためにどのような対策を取っているのか。</p>

林 直史 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目 (1)、①、ア）
3 HPV（子宮頸がん）ワクチンについて	<p>(1) HPVワクチンの積極的勧奨再開における本市の対応と接種の現状について</p> <p>定期接種対象者やキャッチアップ接種対象者への周知方法や対象者を示せ。</p> <p>また、今年度の接種率について現時点でどのようになっているのか、前年度との比較も併せて示せ。</p>
	<p>(2) 9価HPVワクチンの定期接種化に伴う周知について</p> <p>現在、定期接種で使用されているHPVワクチンは、2価HPVワクチンと4価HPVワクチンであり、子宮頸がんの約70%を防ぐとされている。これに対し、さらに高い感染予防効果があるとされる9価HPVワクチンは、約90%の子宮頸がんを防ぐことができると聞く。</p> <p>この9価HPVワクチンについて、厚生労働省は来年4月から定期接種を行う方針であるとの報道があったが、9価HPVワクチンの効果や安全性について、所見を問う。</p> <p>また、9価HPVワクチンが定期接種化された場合、対象となる方への周知方法について、所見を問う。</p>
4 「パートナーシップ宣誓制度」の導入について	<p>同性婚が認められないのは憲法違反であるとして、同性カップルが国に対して起こした裁判の判決が、先月30日、東京地方裁判所では「違憲」、本年6月の大阪地方裁判所では「合憲」、そして今回の東京地方裁判所では「違憲状態」と判断された。3つの判決のうち2つが「違憲」または「違憲状態」と判断されたことは、性的マイノリティーの人権が侵されていることの証左であると考えられる。</p> <p>国会では、旧統一教会と政治家の関わりが取り沙汰されている中、旧統一教会などの宗教右派勢力と保守派国会議員がつながり、特定の「性」や「家族」の在り方に当てはまらない人の権利を侵害し続けていたことに驚きを隠せない。</p> <p>一方、地方自治体によるパートナーシップ宣誓制度の導入は全国各地に広がりを見せている。本市においても性的マイノリティーの人権を守るため、来年度中の導入を目指すべきと考えるが、所見を問う。</p> <p>また、これまで「人権問題の一つと捉え、市の対応を検討する」との答弁を繰り返しているが、導入の必要はないという考えであれば、その理由を問う。</p>

東野 真樹 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 デジタル田園健康特区推進に向けてのアーキテクト、アドバイザーの就任について	<p>デジタル田園健康特区の認定を受け、推進していくためにアーキテクトとして唐澤氏を、アドバイザーとして木下氏と小林氏を就任させたとのことであるが、3氏を迎え、推進に向けた取組をどのようにしていくのか。</p> <p>また、アーキテクト及びアドバイザーが行う任務とはどのようなものなのか。</p>
2 まちづくり（都市計画）に関する市民アンケート調査について	<p>今年の6月から7月にかけて、18歳以上の市民3,000人に対し無作為でアンケート調査を行ったとのことであるが、アンケートの回収率を示せ。</p> <p>また、項目の中で、北陸新幹線金沢敦賀間開業をきっかけとして加賀市が発展するための施策（問4）、先端的都市づくり（問5）、土地利用（問10）についてのアンケート調査の結果を示せ。</p>
3 加賀ライズタウン事業について	<p>（1）加賀ライズタウン構想作成の進捗状況について</p> <p>今年度中に事業の核となる民間事業者の候補を絞り込み、最終的な構想を詰め、公表できる段階となれば市民にお示しすると聞いているが、構想作成の進捗状況を示せ。</p>

東野 真樹 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 加賀ライズタウン事業について（つづき）	<p>(2) 開発に向けた環境づくりについて</p> <p>①未来型居住エリアについて</p> <p>県外の不動産会社が取得し、再開発に向けて事業者の誘致に取り組んでいると新聞で報道されたが、市としてどのような認識でいるのか。</p> <p>また、未来型居住エリアを構想する上で、情報収集等を行っているのか。</p> <p>②未来型商業エリアについて</p> <p>まずは駅南側の未来型商業エリアの整備に注力していくとのことである。</p> <p>未来型商業エリアには、個人が所有する農地（農業振興地域）が多くの割合を占めており、整備するに当たり、農業振興地域から除外する手続きや農地転用許可申請などを行う必要がある。このため、整備できる環境となるまでに相当の期間を要すると思われるが、整備できる環境を整える計画については、どのように考えているのか。</p> <p>また、早期実現を目指すには、区画整理を行うほうがよいと考えるが、所見を問う。</p> <p>③ロードマップの作成について</p> <p>整備に向けたロードマップを作成することで、地権者や耕作者、地元住民等との意見交換会で分かりやすい説明ができると考える。</p> <p>また、企業などの誘致を図る上でも重要だと考えるが、ロードマップ作成の準備は行っているのか。</p> <p>行っているのであれば、完成時期はいつ頃になるのか。</p>
4 肥料価格上昇補填事業について	<p>(1) 対象者と申請手続について</p> <p>対象となる農業者とは、どういった農業者なのか。</p> <p>また、申請手続については、購入の都度行うのか、期間で行うのかなど、対象者と詳細な手続の方法を示せ。</p>

東野 真樹 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 肥料価格上昇補填事業について（つづき）	<p>(2) 補助対象及び購入先について</p> <p>土壌づくりをするためには、肥料以外に消毒や除草剤等も必要であるが、肥料以外の物資も対象となるのか。</p> <p>また、購入先については、JA以外の農機具販売店や飼料店、ホームセンターなどで購入した場合も対象となるのか。</p>
5 スポーツ施設整備の方針と今後の計画について（持込み資料No. 1～3）	<p>市内のあらゆるスポーツ施設で老朽化が進み、整備するには多額の予算が必要であることから、加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会を設置し、委員会だけではなく議会や団体とも議論や意見交換を重ねてきた。その結果、加賀市中央公園のプール、加賀市スポーツセンター、加賀市中央公園野球場などの大規模施設の整備については、対応する優先順位の整理が進んだと認識しており、これまで以上に整備が進むものと期待している。</p> <p>また、大規模修繕を要する前に、軽微な修繕で済む段階での対応も必要であると考えます。</p> <p>こうした中小規模の整備も含めて、今後どういった方針で整備計画を立てていくのか、所見を問う。</p>
6 高校魅力化事業について	<p>市内の高等学校への進学率等を上げ、地域の活性化や教育環境の充実を図るため、市として高校魅力化スタッフを派遣し、探究学習などの充実に取り組んできているが、地域活動の活性化にはつながっているものの進学率等の上昇にはつながっていないのが現状である。</p> <p>進学率等を上げるためには、根本である大学への進学や就職につながるような支援を行い、特色ある学校となる取組をすべきだと考える。</p> <p>そこで、加賀市はデジタル人材育成のために民間企業等に支援していくとのことであるが、市内の高等学校にも同様な支援ができないのか。</p> <p>加えて、大聖寺実業高校や総合学科を設置している加賀高校であれば授業のカリキュラムとして取り入れることも可能であると考えますが、石川県教育委員会に働きかけてはどうか。</p>

中川 敬雄 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
<p>1 加賀温泉駅周辺施設整備事業について</p>	<p>（1）加賀温泉駅高架下都市施設建築工事について</p> <p>今回の12月補正予算は、主に資材費高騰のためということである。加賀温泉駅高架下都市施設建築工事の入札は、6月の入札では応募者がなく、今後行われるとのことであるが、ここに至るまでにこれほど多くの時間がかかった理由を問う。</p> <p>また、北陸新幹線開業までに間に合うのか。</p> <p>さらに、11月に行われた加賀温泉駅前の別の建築工事でも応札がなかったと聞かすが、今後の入札でも応募者がいない場合の対応を示せ。</p>
	<p>（2）加賀温泉駅高架下都市施設建設工事の電気設備工事と機械設備工事について</p> <p>既に落札済みの電気設備工事と、機械設備工事についても主体となる建築事業者が決まっていない場合、大きな影響が出るのではないかと危惧するが、どのように考えているのか。</p>
<p>2 事業者応援給付金事業（物価高騰対策分）について</p>	<p>個人事業主及び従業員100人未満の法人に対して一律5万円、従業員100人以上の法人に対して一律15万円を給付するとのことだが、あまりに対象が広く、かつ浅くなっており、効果を感じにくいのではないかと考えるが、なぜこのような事業の形になったのか。</p>
<p>3 給付や助成事業を行う際の商工団体との協議について</p>	<p>過去に行われたがんばる事業者応援事業などを含め、このような給付や助成事業を行うに当たり、加賀商工会議所等の事業者団体とは協議をしているのか。</p>
<p>4 M a a S（公共交通）アプリについて</p>	<p>令和4年11月1日より、M a a Sアプリ「N o l u D a y」の運用が開始されている。高齢者などの公共交通が必要な方に向けて作られたアプリにしては、あまりに利用が難しいように思う。運用開始からあまり日はたっていないが、現在の運用状況を分かる範囲で示せ。</p> <p>また、今後もM a a Sアプリはバージョンアップしていくとデジタル田園健康特区特別委員会で答弁していたが、どのような頻度でバージョンアップしていくのか。</p>

中川 敬雄 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 今までに導入した市民向けアプリ等について	市が今までに導入した市民向けアプリ等については、たくさんありすぎて、多くの市民は分かっていないと思われる。全部で幾つのアプリがあり、管理はどのように行っているのか。
6 外部からの人材の採用について	11月25日に放送されたテレビ東京の「ガイアの夜明け」という番組で「働きがいがニッポンを変える」というテーマで加賀市が大きく報道されていた。主に山内政策戦略部最高デジタル責任者（CDO）や民間から新たに加賀市へ来た職員に焦点を当てた番組であり、非常に興味深く拝見した。 このような方たちが市の在り方や職員の働きがいというモチベーションに良い影響を与えてくれることは素晴らしいと思うが、市ではどのような活躍を期待して彼らを採用したのか。

一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 学校給食費の無償化について	<p>子育て支援策の充実について、令和4年9月補正予算で対応している、2学期・3学期の小・中学校の給食費の無償化が好評である。</p> <p>来年度以降も学校給食費の無償化を期待し、今後の無償化の継続を求めるものであるが、所見を問う。</p>
2 農業者支援について	<p>これまでも農業者支援の必要性を訴えてきた中で、ようやく12月補正予算において、支援策が具体化した感がある。</p> <p>しかしながら、支援の内容は、肥料価格上昇分を補填するにとどまっており、肥料価格の高騰のほか、昨今の燃料費高騰等にも苦しむ農業者へ寄り添った内容には程遠いと言わざるを得ない。</p> <p>農業収入の減少、後継者不足など、農業経営が深刻な状況となっている中、農業者支援及び農業振興を推進するには、市独自のさらなる支援が必要と考えるが、所見を問う。</p>
3 農地の確保について	<p>加賀ライズタウン計画の開発が進むと、相当な面積の農地が転用されるのではないかとと思われる。</p> <p>自給率の向上及び地産地消をはじめとする農業振興及び農業経営の安定化のためには農地の確保が基本であり、農地の減少は、加賀市の農業の衰退につながると考えるが、所見を問う。</p> <p>また、今後も農家が意欲的に農業に取り組むことができるよう、JA加賀等の農業団体と協力しながら、農地を確保していくことが必要と考えるが、併せて所見を問う。</p>
4 マイナンバーカードについて	<p>(1) マイナンバーカードの普及促進を図ることについて</p> <p>国は、マイナンバーカードに健康保険証をひもづけたり、公金受取口座の開設を打ち出している。</p> <p>今回の補正予算では、国の勸奨等の時期に合わせてさらなるカード普及の促進を図ることとしている。</p> <p>しかしながら、プライバシー保護の観点からマイナンバーカードの普及については、慎重にすべきとの意見も多い。</p> <p>自治体として、国に一旦白紙にすべきと迫ることが必要と考えるが、所見を問う。</p>
	<p>(2) マイナンバーカード普及促進事業について</p> <p>加賀市において、マイナンバーカードの普及促進事業に要した累積の事業費を示せ。</p>

一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について	<p>加賀市に交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の総額及び各部門に配分された内訳を示せ。</p> <p>また、この交付金の使途について、国から不備についての指摘はなかったのか。</p>
6 伝統工芸や歴史遺産文化財について	<p>加賀市は、越前加賀海岸国定公園やラムサール条約登録湿地である片野鴨池などを有する自然豊かな地である。</p> <p>また、山中漆器や九谷焼の伝統工芸のほか、橋立地区、東谷地区は重要伝統的建造物群保存地区にも指定されている。</p> <p>さらに、そのほか貴重な文化遺産や施設も存在する。</p> <p>こうした伝統工芸を将来携わっていく後継者の育成方針及び古九谷・九谷焼の国指定窯跡の保存をはじめとする、歴史文化遺産、施設等の保存、活用に係る取組方針について問う。</p>

南出 貞子 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 児童虐待防止推進月間と女性に対する暴力をなくす運動について	<p>(1) 各運動に対する取組について</p> <p>児童虐待防止推進月間（オレンジリボンキャンペーン）と女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボンキャンペーン）の期間中、全国的な啓発事業が展開される中、加賀市における具体的な活動について、関係機関との連携を含めた内容と実績を示せ。</p>
	<p>(2) 相談内容と対策及び相談体制について</p> <p>コロナ禍における各種の問題（ひきこもり、鬱の増加等）がある中、特に児童や女性に対する被害や悩み事は多岐にわたり、内容によっては、他市や県への相談が増えているのではないかと察する。</p> <p>そういった現状を鑑み、現段階（令和4年4月から9月まで）の相談件数と内容及び庁内関係課、市内関係機関及び県との連携体制を示せ。</p> <p>また、今後、相談者や当事者、御家族が安心・安全に過ごすための配慮を含め、効果的な対応策をどのように行っていくのか。</p>
2 不登校児童生徒への対応について	<p>(1) 加賀市教育総合支援センターについて</p> <p>昭和47年に開所した旧勤労青少年ホームは、様々な事情で学校に通えない児童生徒のための施設として各種事業を展開し、平成30年4月からは加賀市教育総合支援センターとして今に至っている。</p> <p>そこで、この間における施設の利用状況と活用内容を示せ。</p>
	<p>(2) 旧三木小学校への移転について</p> <p>今回、老朽化が進む加賀市教育総合支援センターを移転するに当たり、今後の不登校児童生徒に対する支援体制をどのように行っていくのか。</p> <p>特に、母親などの家族に対するケアや学校との連携、地元への理解促進などについて、現段階の所見を問う。</p>

南出 貞子 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 学校教育ビジョンについて	「個別最適な学び」、「協働的な学び」、「探究的な学び」へと転換を図り、多様な学習ニーズに応えるため、子供たちの居場所づくりなどの施策を進めていくとのことだが、具体的な取組内容を示せ。
4 子育て応援ステーション窓口改修整備事業について	かが交流プラザさくらにある子育て応援ステーションは、子育て中の母親などの困り事や悩み事などを聞き入れてくれるとても大切でありがたい場所であるが、今回の改修イメージとメリットを示せ。
5 事業所における人材育成について	9月28日、加賀市は、全国に先駆けて自治体初となる加賀市リスクリング宣言を行った。 リスクリングは、コロナ禍で働き方が変わり、テレワークが増えてきたことから、新たなスキルを身につけるために必要であるが、その概要と今後どのように進めていくのかを問う。

林 茂信 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 令和5年度の予算編成について	<p>加賀市中期財政計画においては、向こう5年間の財政見通しが示されているが、いまだコロナ禍からの脱却が見通せない中、昨今の物価高騰は市の財政を圧迫することになり、厳しい財政運営が強いられることが伺える。</p> <p>特に財政調整基金の残高については、令和3年度の決算で目標値の倍となる約18億円を確保したことは評価したいと思うが、今後とも持続可能な財政運営を行うため、必要な額を確保していくことが重要であり、いまだ続くコロナ禍への対策や、この急激な物価高騰への対策を含めて、必要かつ有効な施策のために活用してもらいたい。</p> <p>また、来年度の当初予算編成方針では、限られた財源の中で「選択と集中」を進め「人への投資」に予算の配分を強化するという点が掲げられている。</p> <p>現時点で、具体的にどのような施策を考えているのか。</p>
2 公共施設の有効活用について	<p>(1) 大聖寺鴻玉荘について</p> <p>文化的な価値があるとされる建物の寄附を受け、令和2年に整備されている。</p> <p>地元からの熱い要望を受けて整備されたものと理解しているが、週末のみの開館で、文化的資産の展示や、建物そのものの展覧にとどまっているように見受けられる。</p> <p>建物としての価値も十分備えられており、その文化的価値を生かした活用策も考えられるのではないかと思われる。</p> <p>今後の大聖寺鴻玉荘の有効活用について、どのように考えているのか。</p>
	<p>(2) 旧よしのや依緑園別荘について</p> <p>文化的建物として寄附を受け、本年度、整備中である。</p> <p>地元からの旧よしのや依緑園別荘整備小委員会の提言書に基づき、山中温泉の新たな観光名所、また、温泉街散策の回遊拠点にするとの説明を受けているが、観光施設として活用するのであれば、利用者数や施設としての採算性が重要である。</p> <p>オープンまでのスケジュールと利用者数の見通し、さらに、公共施設マネジメントの観点から、どのような事業を行い、採算性を取り運営していくのか。</p>

林 茂信 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
<p>2 公共施設の有効活用について （つづき）</p>	<p>（3）旧中木邸について</p> <p>大聖寺魚町にある旧中木邸は、合併前の平成14年に、大聖寺で最大級の町屋建物として市に寄附を受け、町屋再生事業により整備がなされたものである。</p> <p>従来は、市が建物を有効活用してもらえる方に賃貸借をし、陶芸の工房などが運営されていた。現在は入居者が退去して、空き家となり、地元の近隣住民がボランティアで管理を行っていると聞いている。</p> <p>今後の旧中木邸の活用策について、所見を問う。</p>
<p>3 インボイス制度について</p>	<p>令和5年10月から施行されるインボイス制度は、農業従事者にも大きく影響する制度である。</p> <p>施行後数年は特例による免除が認められているが、農協特例や媒介者交付特例など様々なものがあり、分かりづらい。JAグリーン加賀農産物直売所元気村のような委託販売においても、無条件委託方式と共同計算方式の両方の条件を満たしていないと適用されないこととなっている。</p> <p>インボイス制度の導入は、生産者の負担を増やすものであり、手続の簡略化や分かりやすい説明など、市民に寄り添った対応が必要と考えるが、具体的な対応策を問う。</p>

林 茂信 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 みどりの食料システム戦略について	<p>(1) 支援策について</p> <p>2021年5月、農林水産省は「みどりの食料システム戦略」を公表し、今年の春にそれにまつわる法律が成立した。</p> <p>この戦略は、2050年の農業と食料産業の在り方を見据えたもので、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを宣言し、農業分野では化学農薬の使用量50%減、化学肥料の使用量30%減、そして有機農業を全耕地面積の4分の1まで拡大するとしている。</p> <p>しかし、現状は農家の高齢化が進んでおり、慣行の化学農薬・肥料を減らして農業することは非常に手間やコストがかかることも事実である。</p> <p>市として、みどりの食料システム戦略に対する考え方を示せ。</p> <p>また、化学農薬・肥料を減らすための支援策についても問う。</p> <p>(2) 加賀市特産品（カボチャ）について</p> <p>2021年にJA加賀野菜集出荷貯蔵施設の稼働が開始した。これにより農家の選果の負担が減っていると聞く。しかし一方では、今まで農家が行っていた作業を集荷場が代行することにより、反収が減り加賀市の特産である味平かぼちゃの作付をやめる農家も出てきている。</p> <p>特産品を守るということは、農家の収入を守るということでもあると思うが、これからの対策や考え方を問う。</p> <p>(3) 資材高騰の助成について</p> <p>2022年に入り、様々なものが値上がりしている。</p> <p>農業にまつわる部分に着目すると、特にカリ肥料の原料は2倍以上の価格となっている。</p> <p>加賀市において農業は、主要な収入源の一つであると思うが、現在、農家に対してどのような補助を行っているのか。</p> <p>また、これからさらに資材の価格が高くなった場合の対応はどのように考えているのか。</p>

林 茂信 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 除雪体制の強化について	平成30年度に除雪車運行管理システムの導入や消雪装置の集中管理システムの導入、また、令和3年度には小型除雪機械の増強など除雪体制の強化を図っているが、今年度、何か強化した点はあるのか。
6 南加賀道路について	<p>(1) 事業スケジュールについて</p> <p>南加賀道路は、平成5年度から事業に着手し、熊坂町から山代温泉間の5.6キロメートルは先月13日に完成したが、今後、当初から計画にある山代温泉から小坂町までの区間を整備することでさらなる事業効果が得られると思われる。</p> <p>本道路は県管理の道路ということは承知しているが、今後の事業スケジュールを示せ。</p> <p>(2) 消雪施設の整備について</p> <p>平成29年度に開通した細坪町から曾宇町までの区間は、山間部を通り、道路の縦断勾配が非常に急であり、冬期間の積雪時には、大変危険な道路になると思われる。熊坂町から細坪町間が完成し、交通量が大幅に増えることが予想されるが、消雪装置を整備する予定はないのか。</p>

林 俊昭 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 かが交流プラザさくらの改修について	<p>(1) 子育て応援ステーション窓口改修整備事業について</p> <p>窓口改修設計業務委託料として165万円を計上しているが、令和3年度の利用者数を示せ。</p> <p>また、利便性などの点において、利用者からはどのような声が寄せられているのか。</p> <p>さらに、限られたスペース内でどのような改修をするのか、設計業務の方向性を示せ。</p>
	<p>(2) 加賀市イノベーションセンターの改修について</p> <p>インキュベーションルームは現在満室とのことだが、オープン以来、インキュベーションルームから独立した団体は何団体あるのか。</p> <p>また、そのうち独自にオフィスを構える団体は幾つあり、どのように活躍し、成果を上げているのか。</p> <p>さらに、現在入居中の団体は何団体あり、どのような研究を重ね、どのような成果を上げているのか。もしくは、上げつつあるのか。</p> <p>あわせて、拡張後の新規入居見込みや業種なども問う。</p>
	<p>(3) 企業債の償還予定と国の見解について</p> <p>旧加賀市民病院の企業債償還が終了すれば、全ての建物を自由に活用できるとのことだが償還は終了したのか。</p> <p>また、3階より上の部分の改修に際し、北陸財務局の見解はどのようなものであったのか。</p>
2 市内駅等活性化調査検討業務のその後について	<p>(1) 大聖寺駅の現況について</p> <p>改修されてから半年が経過したが、この間、施設内に入所しているパンデュースや、コワーキングスペースの利用状況を示せ。</p> <p>また、その利用状況は、事業者がプレゼンテーションを行った際の想定と違いはあるのか。仮に、想定よりも利用者が少ない場合、今後、どのような方策を講じるのか、考えを示せ。</p>

林 俊昭 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 市内駅等活性化調査検討業務のその後について （つづき）	<p>（2）パンデュースの営業時間について</p> <p>パンデュースの営業開始時間は午前9時からである。これでは、駅を利用する高校生は、昼食としてのパンを購入できないと思われるが、市はこの事実を把握しているのか。</p> <p>また、市として、事業者へ営業時間変更の指導や要望を行うつもりはないのか。</p>
	<p>（3）動橋駅再生事業の進捗状況について</p> <p>北陸新幹線開業まで1年余りとなったが、動橋駅の進捗状況について、現在どのようになっているのか。</p> <p>また、動橋地区のにぎわい創出にどのようにつなげていくのか、地元との調整に関しても併せて示せ。</p>
3 北陸新幹線開業に向けた各種取組について	<p>（1）公共交通について</p> <p>利便性を確保する取組として、路線バスやキャンバス、乗合タクシーを組み合わせたM a a sアプリの利用が可能となったようだが、市の公共交通の一番の問題は、各交通手段における便数の少なさである。</p> <p>このような状況で北陸新幹線を迎えることに、一抹の不安を感じるが、増便や新規路線の導入など、加賀市地域公共交通会議の有無も含めて、担当部局の考えを問う。</p>
	<p>（2）大聖寺道路について</p> <p>大聖寺道路は平成28年2月の「加賀市都市計画審議会」において承認され、手続的には全て終了しているにもかかわらず、いまだ進捗が見られないように思う。</p> <p>県への働きかけや今後の展望、また、いつ開通するのかを示せ。</p>

林 俊昭 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 北陸新幹線開業に向けた各種取組について (つづき)	<p>(3) 錦城山と江沼神社の整備について</p> <p>昨年12月定例会の答弁では「歴史的風致維持向上計画に基づき、大聖寺城跡の遺構の保存計画や整備計画を優先し、国指定を受けた後、市民の憩いの場として修景整備を行っていききたい」、また、今年3月定例会の答弁では「樹木環境や石造物の調査後、庭園環境の改善方針を検討し、令和5年度以降に基本計画の策定を行い、実施設計につなげていききたい」というような答弁であったが、このような北陸新幹線開業など関係ないと思われてしまう当局の姿勢こそが、盛り上がり欠ける根本的な原因である。</p> <p>北陸新幹線開業を念頭に、今年度の検討も踏まえた錦城山と江沼神社の整備スケジュールについて問う。</p>
4 旧山中温泉医療センター跡地の活用と加賀市医療センターの今後の運営について	<p>統合新病院である加賀市医療センター整備の際、国との合意事項として、期限を区切り、跡地活用を図るとしていただいていたのではないかとと思うが、旧山中温泉医療センター跡地の活用における国との合意事項に関して、期限や内容、また、履行できなかった場合のペナルティ、併せて加賀市医療センターの今後の運営への悪影響などについて問う。</p>
5 加賀市教育総合支援センターの移転について	<p>加賀市教育総合支援センターは、現在の建物の老朽化が著しいということで、かが交流プラザさくらへの移転が一旦公表されたのにもかかわらず白紙に戻し、今回、何の前触れもなく、なぜ旧三木小学校へ移転することとしたのか。</p> <p>また、地元の三木地区に対して、いつ説明をし、地元の反応はどのようなものであったのか。</p>
6 加賀市家庭教育支援条例に対する教育長の見解について	<p>この条例に対する考え方や評価などについて、旧統一教会との関連も含めた教育長の見解を伺う。</p>

荒谷 啓一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目 (1)、①、ア）
<p>1 山中温泉ゆけむり健康村について</p>	<p>山中温泉ゆけむり健康村の施設の在り方については、山中温泉ゆけむり健康村検討委員会からの提案書や加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会の報告書、存続を求める署名・要望書、市民説明と意見を聴く会、議会での議論なども踏まえ、これまで時間をかけ協議されてきた。</p> <p>去る7月臨時会と9月定例会において、「本年中を目途に、市の方向性を示したい」という旨の答弁がなされている。</p> <p>ヒト・モノ・カネの観点からも大変難しい判断になると思うが、現在の状況を示せ。</p>
<p>2 今後の保育・教育の方向性について</p>	<p>今定例会の市長提出議案説明の前段、市政に対する所信の一端の中で、「人への投資」に関する説明があった。</p> <p>その中の教育に関する事項で、「幼児期から児童期の発達を見通し、保育カリキュラムと小学校のスタートカリキュラムを一体的に捉え…」と続く説明があったが、保育側の視点からはどのようなことか、具体的なイメージ案を示せ。</p>
<p>3 北陸新幹線敦賀延伸に向けた観光施策について</p>	<p>北陸新幹線敦賀延伸が間近に迫る中、令和3年度から市の観光推進部と経済環境部が統合して産業振興部となり、さらなる観光・商工の連携（3温泉+ものづくり）が期待される。</p> <p>燕三条ものづくりメッセ（新潟県）や市場街（高岡市）、RENEW（鯖江市・越前市ほか）、Around（山中温泉）などのような、地域の観光資源と地場産業の見学・体感を結びつけた産業観光イベントへの取組や業界支援を一層推進すべきと考えるが、所見を問う。</p>
<p>4 山中温泉支所の本庁事務一元化について</p>	<p>山中温泉支所は合併当初、3つの課があったが本庁への事務一元化及び支所庁舎の老朽化により、現在は山中郵便局内に移転し、振興課のみとなっている。しかし、平成30年度以降は主な本庁事務一元化はなされていない。</p> <p>本年度の山中温泉支所の所管である指定管理施設、山中温泉芭蕉の館、山中座、ろくろの里工芸の館は、それぞれ本庁所管の関連業務と一体的に捉えるべきであり、あやとりはし点検業務、旧よしのや依緑園別荘事業には、技術的な専門性や学芸員の知識が必要である。また、山中温泉ゆけむり健康村は全庁的な複合施設と考える。</p> <p>さらなる市民福祉の向上に向け、市としてより効率的な本庁事務一元化を図るべきと思うが、所見を問う。</p>

荒谷 啓一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 一般会計補正予算について	<p>(1) マイナンバーカード普及促進事業について</p> <p>マイナンバーカード普及促進については、加賀市は令和2年度から全庁体制でいち早く取り組み、この10月末現在で交付率77.7%となっている。</p> <p>これまでは、マイナンバーカードを持っていても必要ないという声が多かったが、令和6年秋の「マイナ保険証の義務化」により、全国の自治体でも普及促進への動きが活発化している。</p> <p>普及先進自治体である本市の様々な実証実験を含めた利活用の現状と、今後の見通しを問う。</p>
	<p>(2) 市道D第245号線 道路災害復旧工事について</p> <p>本路線は山中温泉九谷町から山中温泉真砂町へと通じる市道で、発電用取水施設や県の雨量計、大聖寺川源流である大日山への登山道、福井県坂井市との広域基幹林道、河内南谷線につながる、山中・大日山県立自然公園内の重要な路線である。特に大日山登山客にとって、この道路災害は深刻であり、下流に車を止め、徒歩で山中温泉真砂町に入らざるを得なかったと聞く。</p> <p>この周辺は、これまでに何度も集中豪雨で被災している場所であるが、その要因と今後の工程を問う。</p>

若林 高 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 旧黒崎小学校及び旧看護学校生徒宿舍の貸付けについて	<p>(1) 参政党と旧統一教会の関係について</p> <p>平成27年10月12日に、幕張メッセで旧統一教会が開催した名称を変更する式典に、参政党の代表である松田学氏が教祖一族、教団幹部たちと共に来賓として出席していたことが当日の現地取材で確認されている。参政党の副代表兼事務局長である神谷宗幣氏が関わった団体が市の遊休財産を使用することは、旧統一教会の隠れみよになる可能性があり、大変危険を伴う。</p> <p>市として、早急に旧統一教会との関係を断ち切るべきだと考えるが、当局の見解を問う。</p>
	<p>(2) 会議結果の対応について</p> <p>9月定例会において、一般社団法人てくてくの杜の活動が参政党のホームページやYouTubeで取り上げられていることについて質問したところ、その政治的関与については判断できかねるという答弁であった。</p> <p>9月21日の教育民生委員会で再度答弁を求めたが、満足のいく答弁が得られなかった。</p> <p>その後、10月11日に当局から説明を受けたが、その説明の内容については、本来、教育民生委員会でされるべきものであると思われる。</p> <p>今後、委員会等で説明する予定はあるのか。</p>
	<p>(3) 市の普通財産の運用に係る要領等について</p> <p>市の貸付け契約、譲渡契約及び使用に関して、運用に係る要領等はあるのか。</p> <p>ないのであれば今後定めるべきと思われるが、所見を問う。</p>
	<p>(4) 新教育長の教育ビジョンについて</p> <p>11月10日の島谷教育長の講演会での話を受け、島谷教育長の教育ビジョンと旧黒崎小学校フリースクールは相反するものと思われるが、所見を問う。</p>

若林 高 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 加賀市の教科書採択について	<p>市内中学校の歴史、公民の教科書には、全国でも採択が極端に少ない株式会社育鵬社の教科書が選定されているが、その理由を示せ。</p> <p>また、全国でも多くの自治体が採択を決定する会議を公開しているにもかかわらず、市の選定過程は非公開としている。</p> <p>選定過程を公開することは当然だと考えるが、所見を問う。</p>
3 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>(1) 学校給食での黙食の緩和について</p> <p>コロナ禍の3年間、学校給食の際に黙食が実施されており、生徒及び保護者からは緩和を求める声が上がっている。また、全国各地でも緩和を求める署名が始まっている。</p> <p>さらに、11月30日の北陸中日新聞によると、文部科学省は学校給食の際、適切な対策を取れば「会話は可能」とする旨を都道府県教育委員会などに通知したと報道している。</p> <p>こうしたことを受け、市としてどのような措置を考え、周知していくのか。</p>
	<p>(2) マスクの取扱いについて</p> <p>原則、屋外ではマスクの着用は必要とせず、屋内でも場面に応じた適切な着脱をすべきと言われている。</p> <p>これらの周知については、市役所内、保育園、小・中学校、市民の方々にどのようにされているのか。</p>
4 プラスチックごみ削減について	<p>最近のニュース等では世界的にプラスチックごみの問題について取り上げられており、危機感を感じている。</p> <p>市としてプラスチックごみの削減について、どのような対策を講じているのか。</p> <p>また、対策していないのであれば、今後どのような対策を講じていくのか。</p>

若林 高 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 加賀ライズタウン構想について	<p>(1) 民間事業者による次世代型のショッピングエリアの実現について</p> <p>現在、加賀温泉駅周辺には、アビオシティ加賀、イオン加賀の里店などのショッピングモールがあり、それらの商業施設と競合することになると思われるが、既存店舗等との兼ね合いはどのように対応していくのか。</p>
	<p>(2) 未来型居住エリアについて</p> <p>先日、北陸中日新聞に旧ユートピア加賀の郷跡地の再開発についての記事が掲載され、石川テレビでも放送された。一連の報道では、市は一切関係しないというふうに取り扱われるが、具体的な未来型居住エリアの方向性を示せ。</p>
6 公立保育園の受入れ年齢について	<p>各保育園での受入れ年齢は異なると思うが、平均的な産休期間が1年程度と考えれば、仕事に復帰する際、例えば2歳児からの受入れしかできないとなると、地元とは別の地域の保育園等に子供を預けることになる。</p> <p>こうしたことから、平均的な産休期間を考慮した受入れ年齢を定めるべきと考えるが、受入れ年齢が異なる理由について問う。</p>

上田 朋和 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 加賀市教育総合支援センターについて	<p>(1) 加賀市教育総合支援センターの移転について</p> <p>来年4月から旧三木小学校に加賀市教育総合支援センターを移転し、機能強化を図るとのことだが、施設をどの程度修繕し、どの部分を活用する予定なのか。</p>
	<p>(2) 通いやすい雰囲気づくりについて</p> <p>加賀市教育総合支援センターを移転するに当たり、通いやすい雰囲気づくりなどの工夫が必要と考える。地域住民と連携し、通所する不登校の子供たちを支援することで、サポートできる範囲が広がり、より多くの子供たちが通える場になると考えるが、どのような取組を検討しているのか。</p> <p>また、11月30日に包括連携協定を締結した認定特定非営利活動法人カタリバとはどのように連携して取り組んでいくのか。</p>
2 メタバースを活用した学習について	<p>(1) 取組の概要について</p> <p>どのような取組を行うのか。</p> <p>(2) 今後の取組について</p> <p>今後、メタバースを活用した取組について、どのような方向を目指していくのか。</p>
3 eスポーツについて	<p>(1) フレイル予防としての活用について</p> <p>eスポーツには高齢者の認知症予防といったフレイル予防としての効果も期待されており、eスポーツを活用したフレイル予防事業に取り組んでいる自治体もある。</p> <p>加賀市においても、フレイル予防として、eスポーツの活用に取り組んではどうか。</p> <p>また、高齢者世代がeスポーツを通じてデジタル機器に触れる機会を持つことで、デジタルに対する抵抗感が少しでも軽減されるとともに、子供たちと一緒に楽しむことで、世代間の交流がより深まるのではないかと考えるが、所見を問う。</p>

上田 朋和 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 eスポーツについて (つづき)	<p>(2) 観光誘客施策としての活用について</p> <p>神奈川県小田原市では、デジタルと融合した観光誘客施策として、eスポーツを活用した新たな魅力の創出及び観光資源のさらなるPR促進を図り、市内外の若年層を中心とした誘客及び市民と観光客との交流増加による地域活性化に取り組んでいる。</p> <p>加賀市においても、再来年の北陸新幹線加賀温泉駅開業を見据え、観光誘客施策として、eスポーツ大会の誘致やイベント開催などの取組を行ってはどうか。</p>
	<p>(3) 教育分野における活用について</p> <p>石川県立加賀高等学校では、教育活動の一環としてeスポーツに取り組んでいる。</p> <p>また、民間では、山代温泉にeスポーツなどができるカフェがあり、そこでeスポーツを学んだ高校生もいるとのことである。</p> <p>このような中、教育委員会として、eスポーツをどのように捉えているのか、所見を問う。</p>
4 来年度予算について	<p>(1) 一般会計について</p> <p>電気料の増額をはじめとする物価高騰に伴う経費の増加は広範囲に及び、施設管理費など経常的経費の大幅な増額が想定される。このような中、先に示された来年度の予算編成方針では、管理的経費は前年度に対して減額を見込んでおり、電気料等の増額は見込まれていないようである。</p> <p>そこで、電気料をはじめとする経常的経費の大幅な増額に対し、どのような方針で令和5年度の予算編成作業に臨むのか。</p> <p>また、国の経済対策補助金は、時限的なものであり、いずれはなくなることも想定しなければならないと思うが、今後の財政運営を通じて、どのような方針で臨むのか。</p>

上田 朋和 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 来年度予算について （つづき）	<p>（2）病院事業会計について</p> <p>令和3年度の病院事業会計は、統合新病院としての加賀市医療センターの開院後、初めて約3,900万円の黒字決算となった。黒字化の要因としては、コロナ禍に伴う専用病床を確保するための補助金をはじめ、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が挙げられる。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症に係る病床の位置づけや補助金が見直され、平時に近い扱いになることが想定されるが、これに対応した病院経営が求められる中、黒字を確保していけるのか。</p> <p>また、具体的に、令和5年度当初予算は黒字予算となる見込みであるのか。</p>

中谷 喜英 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 歴史の授業で日本神話を教えることについて	<p>今、ほとんどの日本人が自国の成り立ちや歴史についての知識がないのが現状と思われる。世界広しといえども、このような国は日本だけである。</p> <p>ぜひとも、学校の歴史の授業もしくは社会科の授業で日本神話（古事記・日本書紀）を教えるべきと考えるが、所見を問う。</p>
2 日本国旗の掲揚について	<p>(1) 国旗掲揚の機運を高めることについて</p> <p>祝祭日には、市民がこぞって日本国旗を掲揚するような加賀市を目指すためのアクションを起こしてはどうか。</p> <p>(2) 日本国旗の無償配付について</p> <p>市民にアンケート調査を行い、希望者に対し、市から無償で日本国旗を配付してはどうか。</p>
3 ギフテッド教育に対する取組について	<p>近年、ギフテッド教育に対する研究・取組が進んでいるところであるが、加賀市における取組状況を問う。</p>
4 森林環境譲与税の取組状況について	<p>森林環境税の創設趣旨を理解した上での取組となっているのか、中長期計画について問う。</p>

山口 忠志 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 令和5年度予算編成方針について	<p>先月、令和5年度の当初予算編成方針が示され、それによると令和5年度の財政状況は極めて厳しいものになるとあるが、これまでは一般財源の配分方針において、シーリング設定を行うことでより一層の歳出削減に取り組む姿勢が見えたが、令和5年度の予算編成方針ではシーリング設定を行っていない。</p> <p>令和3年度決算において、外的要因により経常収支比率が90%を下回り楽観視しているのではないか。財政規律をしっかりと意識するためにも、シーリング設定等で歳出削減を図るべきではないかと考えるが、所見を問う。</p> <p>また、原油価格・物価の高騰や円安による景気の下振れリスクの高まりが今後大きく影響してくると思われる。令和5年度は市税や実質的な地方交付税は減額を見込んでいるが、年度当初より歳入不足を財政調整基金の取崩しで対応するとのことであるが、そのような対応でよいのか、所見を問う。</p>
2 市内の高校生の求人・就職状況について	<p>加賀市は若者が働く場所がないとよく聞くが、現状はどのようになっているのか。</p> <p>また、これはハローワークの管轄ではあるが、市としてどのように把握しているのか。</p>
3 高校魅力化事業について	<p>大項目2の高校生の就職状況や、今後の市内高等学校の在り方を勘察した、高校魅力化事業の進捗状況について問う。</p>
4 市内の住環境の整備について	<p>先日、市政懇談会が行われ、「人への投資」が重要であり、教育と人材育成に特に注力していくとのことであった。それと同様に重要なことはインフラへの投資であり、加賀温泉駅前の未来型商業エリアと若い世代の移住・定住も含めた住環境の整備が重要とのことであった。</p> <p>大項目2の質問と関連し、加賀市への若者の定住は不可欠であると考えるが、具体的な計画はあるのか、所見を問う。</p>
5 新教育長の取組について	<p>島谷教育長は就任に当たり、当市はポテンシャルの高い地域で学校の教職員も非常にやる気があり、人材育成においてはイノベーションの創出が不可欠であると述べている。</p> <p>今定例会の市長提出議案説明では「個別最適な学び」、「協働的な学び」、「探究的な学び」を挙げているが、島谷教育長の具体的な取組方針を問う。</p>

辰川 志郎 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 加賀市の公共交通について	<p data-bbox="496 365 1418 439">(1) 生活バス路線及び乗合タクシーの実績について（持込み資料No. 1～3）</p> <p data-bbox="512 483 1434 595">加賀市の公共交通（路線バス・周遊バス・乗合タクシー）の過去4年間の実績を見ると、1人当たりに対する助成金などのウエートが非常に大きなものとなっている。</p> <p data-bbox="512 607 1434 680">公共交通を運営する上で、市からの助成金等を削減するよう行政も民間もさらなる工夫や努力をすべきだと思うが、所見を問う。</p>
	<p data-bbox="496 763 1002 797">(2) 乗合タクシーの利用状況について</p> <p data-bbox="512 842 1434 916">今回の補正予算で加賀第一交通株式会社に対し、地域交通対策費として、1,170万円の委託料が計上されている。</p> <p data-bbox="512 927 1434 1001">令和4年度の予算に対してさらに上積みしており、1人当たりの利用に対し、委託料が増額することとなる。</p> <p data-bbox="512 1012 1434 1117">これからは加賀第一交通株式会社と行政が一体となり、利用者の増加を図るための手段やコスト削減のために努力する必要があると思われるが、所見を問う。</p>
2 旧黒崎小学校におけるフリースクールについて	<p data-bbox="496 1205 975 1238">(1) フリースクールの実態について</p> <p data-bbox="512 1283 1434 1357">フリースクールに通う児童は地元の小学校に所属とのことであるが、具体的にどこの小学校に所属し、その学年別の人数を示せ。</p> <p data-bbox="544 1368 1362 1402">また、児童を教育する担当職員は何名で、教員資格はあるのか。</p>
	<p data-bbox="496 1485 858 1518">(2) 市からの補助について</p> <p data-bbox="512 1563 1434 1668">フリースクールを運営するためには、人件費、光熱水費、その他多額の経費がかかると予想されるが、それらの財源について把握しているのか。</p> <p data-bbox="512 1680 1434 1792">また、このフリースクールの運営に関し、地域おこし協力隊が活動しているのであれば、協力隊の人件費に対し、市から補助はされているのか。</p>

辰川 志郎 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 旧黒崎小学校におけるフリースクールについて（つづき）	<p>（3）今後の運営について</p> <p>市は現在、加賀市教育総合支援センターを有し、同様の不登校児童や生徒に対する教育支援を実施している。</p> <p>この度、認定特定非営利活動法人カタリバと包括連携協定を締結し、旧三木小学校へ移転することである。</p> <p>児童生徒や保護者への説明をすべきと思うが、その予定はあるのか。</p> <p>また、契約は令和5年3月末までとなっているが、その後の更新について問う。</p>